

教育振興運動 全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」

インターネットに接続できる機器が急速に普及してきている現在、今年度より教育振興運動の新たな全県共通課題として「情報メディアとの上手な付き合い方」を掲げ、管内各実践区等で取り組んでいます。ご存じの通り、情報メディアには光と影の部分が存在します。いかに管内児童生徒にその望ましい使い方を身に付けさせるか、周囲の大人の大きな責任でもあります。

秋に実施した「平成27年度 教育振興運動推進状況調査」(11月実施：岩手県教育委員会)では、管内中学校で67校(約87%)、小学校で58校(約84%)が「情報メディア(スマートフォン、携帯電話、TV、ゲームパソコン等)」に関する取組を実施していると回答しています。今後の取組の充実をお願いするとともに、学校だけではなく、親、地域の意識の高揚も期待します。

一関市花泉町では同市花泉支所地域振興課が事務局となり「花泉地域教育振興運動関係者研修会」を開催しました。県立総合教育センター研修指導主事川地里美先生を講師に、地域の大人が実際に情報機器に触れながら、情報機器への理解を深めました。(右写真)



※スマートフォンの操作体験をする地域の方

「子どもの読書活動状況調査」結果から

(平成27年度子どもの読書活動状況調査) 11月実施：岩手県教育委員会)

項目	県小5	管内小5	県中2	管内中2
1ヶ月間の平均読書冊数	14.3冊	14.9冊	4.1冊	5.2冊
1ヶ月に読んだ本のうち 学校図書館から借りた本の割合	56.6%	56.6%	26.8%	36.5%
1ヶ月に読んだ本のうち 公立図書館から借りた本の割合	21.0%	24.0%	12.2%	16.5%
1ヶ月に読んだ本のうち 紹介したいと思った本の割合	21.0%	20.1%	34.1%	30.9%

「平成27年度子どもの読書活動状況調査」(全県小中学校1クラス抽出)を実施しました。管内の状況をお知らせします。

管内児童生徒はこの調査から、県平均を上回る読書をしていることが窺えます。

なかでも、中学生の学校図書館、公立図書館を利用した割合、小学生の公立図書館を利用した割合が高い結果となりました。学校、家庭による読書の奨励と公立図書館の利用促進活動、そして読み聞かせや図書館環境整備を行ったボランティアさんの尽力等、学校、家庭、地域と連携して推進した結果と感じています。

中学校・高等学校図書館担当者等研修会

中高生の更なる読書活動推進のために、学校と関係機関との連携体制の促進及び担当者の資質の向上を図ることを目的とし、今年度より「中学校・高等学校図書館担当者等研修会」を実施しました。

「生徒の主体性を活かした読書活動」として盛岡第二高等学校の取組や「ボランティアとの連携による図書室整備の工夫」としてはなまき読書ボランティアネットワーク協議会の実践を紹介していただきました。受講者からは、図書室利用の促進に向けた取組に刺激を受けたこと、また、情報交換では、他校の取組から課題解決のためのアイデアやヒントを得ることができたことは非常に有意義であったとの感想をいただきました。

中高生の読書活動が更に活性化されるように、来年度も実施する予定です。



～盛岡二高の図書室がほおもしろい～
菊池 陽 教諭

「世界遺産『平泉』出前教室」実施!



今年度、「県南教育事務所管内『世界遺産 平泉出前教室』」を管内36の小・中学校(小34校・中2校)で実施しました。ご協力ありがとうございました。来年度も実施しますので、ぜひご活用ください。

児童の感想：

「国宝建造物第1号におどろいた。」
「平和な国づくりをめざしていたことがわかった。」
「平泉の文化遺産を大切に守っていきたい。」

